

9000SMZ 振動式ミクロトームは、精密な組織切片作製において新たな基準を打ち立てます。神経科学、心臓、肺、肝臓、植物研究など（これらに限らず）厳格な要求に応えるよう設計されています。最先端の振動制御技術を備え、極めて均一でアーティファクトのない切片を提供し、最も繊細な細胞構造さえも保持します。刃の振動および振幅の調整、高解像度の進行速度制御により、さまざまなサンプルにおいて前例のない一貫性と精度が実現されます。



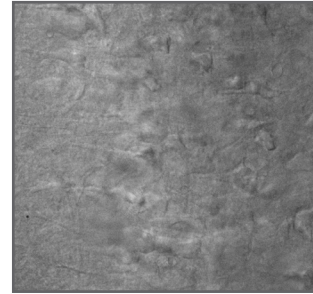
9000SMZタッチスクリーン制御

最大限の操作性と効率性を追求した設計で、9000SMZは高解像度かつ直感的なタッチスクリーンインターフェースを備え、切削パラメータをリアルタイムで制御可能です。きめ細やかな調整が可能で、卓越した精度と再現性を提供します。設定は完全にカスタマイズ可能で、保存して将来的に再利用することができ、ハイスループット用途にも、特殊な研究ニーズにも理想的です。

9000SMZの重要な革新の一つは、ユーザーによって更新可能なファームウェアを搭載している点です。これにより、本機は常に最新技術の先端を維持できます。定期的なソフトウェアアップデートと機能拡張により、研究者は性能を継続的に最適化し、高額なハードウェア交換なしで最新の技術を導入することが可能です。

従来のミクロトームとは異なり、9000SMZはユーザーによるメンテナンスが可能な設計となっており、簡便な保守でダウンタイムを最小限に抑え、長期的な信頼性を確保します。耐久性と精度を追求して設計されており、常に高品質で安定した結果を提供するため、高度な研究環境における不可欠な装置です。

9ヶ月齢ラットから採取された切片

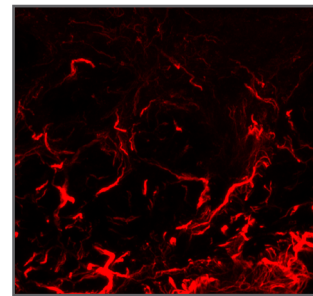


CA1領域

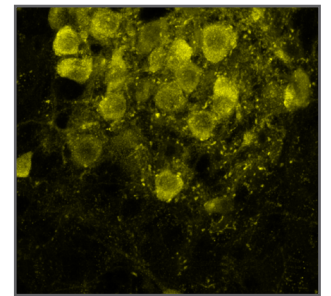


嗅内皮質

6～8ヶ月齢マウスの脳幹から取得された免疫組織染色切片



グリア線維性酸性タンパク質 (GFAP) + アストログリア



コリンアセチルトランスフェラーゼ (ChAT) + ニューロン

主な特長

- ・ 刃の振動周波数に加えて拡張された振幅範囲
- ・ 前例のない刃の精度
- ・ **0.01mm/s**の進行速度分解能
- ・ ヘルプ機能付きの直感的なタッチスクリーンインターフェース
- ・ ユーザーが更新可能なファームウェアを備えたモジュラー設計

9000SMZ

VIBRATING MICROTOME

一線を画す切れ味



多機能タッチスクリーン制御により、
実験の高精度化と簡素化を実現